

こだま

特定医療法人 生仁会
地域活動支援センターやまびこ
高山市国府町村山251-2
(0577) 72-5023
令和 4年 1月発行 No. 147

皆さま、新しい年をどのようにお迎えでしょうか。昨年も多くの方にご利用いただき、ありがとうございました。おかげさまで、やまびこは19回目のお正月を迎えることができました。今年も皆さまと一緒に良い年となるよう取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2021年はみなさんにとってどんな一年でしたか？ 2021年の漢字は「金」でしたね。東京五輪で日本人選手が金メダルを取ったことなどの理由が挙げられていました。

まずは、新年最初の「こだま」ということで、やまびこスタッフからのご挨拶をさせて頂きたいと思います。また、理事長からも新年の挨拶を頂きました。

スタッフ新年のごあいさつ



福 牧上 美由紀

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年引き続き新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年でした。やまびこの行事も今までのようには開催できませんでしたが、感染者が減ったタイミングでようやく3回行うことができ、久しぶりに集まってメンバーさんの顔を見ることができ、ほっとしました。今年も不自由な状況がしばらくは続くと思いますが、その中でもできることを見つけ、少しでも皆さんの元気の元になりたいと思います。よろしくお願いいたします。



寅 野村 めぐみ

明けましておめでとうございます。今年は無年ですね。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」という有名なことわざがありますが、これは危険を冒さなければ大きな成功は得られないことのたとえです。身の危険は冒したくないですが、新型コロナによって、知識としても経験としてもいろいろなことを知り、学びました。負があれば正がある。今年もよろしくお願いいたします。



寅 田立 龍之介

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。毎日マスクをつけ、事あるごとに手指消毒。こんな生活が当たり前になってきていますね。これだけの備えをしても風邪をひく時はひきますし…。完璧に防ぐことはできないのだと、当たり前のことながら感じます。気を緩めることも時には必要ですね。私の場合は緩め過ぎることに注意ですが、心身のバランスをとりながらやっていきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。



寅 千嶋 加奈

明けましておめでとうございます。昨年も、新型コロナウイルス感染症の話題が多い1年でした。コロナ禍になってからは、人に会うことを極力避けなければいけない生活になり、人に会えない寂しさを感じつつ過ごしてきました。その中で、リモート飲み会やリモート会議など、直接会わなくてもいい方法もできました。今年も先が見通せないところはありますが、様々な方法を駆使しながら、状況に応じて取り組んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。



寅 向畑 栞

明けましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルス感染症の影響で、クラブや行事が中止になることもありましたが、オミクロン株の感染も確認され、今年も状況は変わらないと思いますが、コロナ前の生活に戻れることを願いつつ、感染対策に気をつけてクラブや行事を行っていききたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。



寅 三川 純子

明けましておめでとうございます。昨年は、連日のコロナ報道に加え、東京オリンピックや新総理大臣誕生など、色々な事がありました。私自身、何かをみつけられる年にしたいなと思っていましたが、これといったモノを見つけることができず、新年を迎えることとなりました。ただ、クラブ活動や行事は、少しずつ、工夫しながら行えるようになってきたような気がします。今年も更に、少しずつ、利用者の皆さんと一緒に、楽しみを探せればよいなと考えています。今年もよろしくお願いいたします。



新年最初の挨拶を当法人の理事長で、須田病院院長の加藤秀明先生にお願いしました。



須田病院長 加藤 秀明

明けましておめでとうございます。生仁会には須田病院に加えて、10の併設施設ないし事業所がありますが、それぞれに名前がついています。老健は痴呆症の人が穏やかに生活できることを願って、理想郷の意味がある「アルカディア」にしましたが、利用者のみならずケアマネにも国際テロ組織であるアルカイダと呼ばれることがあります。「あじめ」は宮川のあじめ峡、「むらやま」は当地区村山から素直に引用しました。「やまびこ」は利用者の声にやまびこの如く応じるようにと職員の応募から選びました。グループホームの「アクトヒダ」は最も進んでいる地域支援体制であるアクトは当法人でもできる自負の表れです。

デイケアセンターは「リカバリー」にしました。当時の（今もそうですが）リカバリーは病状や障害が軽減し、就労などの社会機能が回復することでした。当院のデイケアではこれはハードルが高いので、偏見を感じなくて、自信が回復できる憩いの場であれば良いと考えました。今から考えればこれはパーソナルリカバリーです。誰も褒めてくれませんが、先見の明があったと思っています。

私は妻とはソーシャルないしフィジカルディスタンスを厳重に保っていますが、孫と犬には濃厚接触の日々を送っています。今年はコロナ禍前の日常に戻ることを願っています。今年もよろしくお祈りします。

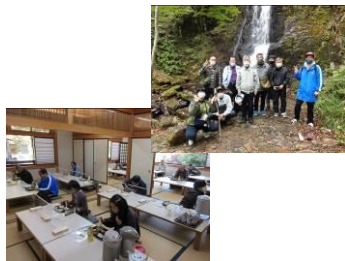


*痴呆症：現在は認知症ですが、アルカディア設立当時の表現にしています。

行事報告

10月 四十八滝散策

新型コロナウイルスの流行により、なかなか行事が行えず、今年度初めての開催となりました。しぶきの湯でお弁当を頼み、レストハウスしぶきで食べました。四十八滝に向かう途中、雨が降ってきたので午後から滝に登れるの心配しましたが、お弁当を食べ終わった頃には雨も止み、滝に登ることができました。レストハウスしぶきで休まれる方もみえ、ゆったり自分のペースで過ごすことができた1日でした。



11月 やまびこ祭

11月は、やまびこ2階でやまびこ祭を行いました。射的やボウリングなどのゲームをして得点を競い合いました。最後は、運試しでガチャガチャを回してもらい、出た点数が加点され、最後まで順位が分からず、ときどきの結果発表でした。ゲームではなかなか得点がとれなくても、ガチャガチャで高得点を出される方、ゲームでもガチャガチャでも高得点を出される方がみえました。今回の行事内容は、初めての試みだったため、いろいろなハプニングもありましたが、みなさんのおかげで無事に終えることができました。

